

市民活動 サポートセンター通信

No.75

2022.12



手を差し伸べるレインボーな日 作:カミジヨウミカさん

～ もくじ ～

- ・多様性を尊重し合う共生社会づくりに向けて
 - あづみの国際化ネットワーク(AIN)
代表 丸山 美枝さん
 - hanpo 編集委員
いしだ ゆずまさん
 - エコライフあづみの
濱 綾子さん
- ・市民活動セミナー開催報告
- ・イベント情報
- ・助成金情報

多様性を尊重し合う共生社会づくりに向けて

互いの違いを理解し、認め合える。
誰もが生きやすい社会へ・・・

近年「多様性の尊重」ということが特に意識されています。様々な生きづらさを抱えている方がいることについて、私たち一人ひとりが目を向け、お互いに理解を深めることが大切です。

今回は、誰もが違いを認め合い、生きやすいまちづくりに取り組む団体・個人を紹介します。



太陽の下でみんなで仲良し
作:カミジヨウミカさん

人間たちと楽しく過ごそう
作:カミジヨウミカさん



プチ情報

安曇野市は 2022 年4月に「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり条例」を施行しました。年齢、性別、性的指向、性自認、国籍、障がいの有無等にかかわらず、一人ひとりがかけがえのない存在であると認められ、個人として尊重される共生社会を目指して制定された条例です。

あづみの国際化ネットワーク(AIN)

「世界にやさしい安曇野」を目指して

「あづみの国際化ネットワーク(AIN)」は、外国籍住民のセーフティーネットとして、外国籍住民の居場所づくりと地域参加を支援している団体です。



あづみの国際 DAY! で踊る様子

日本語 de スピーチ大会

代表の丸山さんは、学生時代から外国文化に関心をもっていました。長野冬季オリンピックを契機に安曇野にも外国籍住民が増えてきて、ゴミの出し方や車の止め方などのトラブルが増えていることを目の当たりにし、何とかしたいと始めたのが外国籍住民への日本語教室やゴミの出し方講習でした。現在は、「あづみの国際 DAY!」や「日本語 de スピーチ大会」の開催など、外国文化や外国籍住民の理解を促すイベントの企画、運営にも取り組んでいます。

「文化や習慣が違う外国籍住民は、何かと地域社会の中で弱い立場にされがちですが、困りごとに寄り添ったサポートをすることで、一人でも日本で生きやすい術を身に付けてもらいたい。私たちの活動を通じて、地域住民や雇用する企業側も巻き込み、少しでも外国籍住民が受け入れられやすい環境を整えられるよう頑張っていきたい。」と活動への思いを語っていただきました。

あづみの国際化ネットワーク
代表 丸山さん



日本人と外国人の共生には、まず接する機会を増やすことが大事。実際に会って話してみればイメージが変わります。お互いに歩み寄る一歩を踏み出してほしいです。

hanpo(はんぽ)

半歩を踏み出すきっかけに

「hanpo」は、様々な切り口のテーマで生きづらさについて考え、不定期でフリーペーパーの発行や、WEB メディアでの情報発信のほか、生きづらさを抱えている若者たちのつながりをつくる活動を行っています。



「hanpo」のロゴ

フリーペーパー「hanpo」の編集委員をつとめるいしだゆずまさんは穂高在住。ご自身の不登校などの経験から、ジェンダーやセクシュアリティを学べる東京の大学に進学し、LGBT問題に取り組むNPO法人のメンバーとして関わるなどの活動をしてきました。長野に帰省後、「hanpo」の存在を知り、以後、編集委員として記事の執筆やホームページ管理に携わっています。また、ご本人は男女のいずれにも属さないと考える性自認を持つ「X ジェンダー」として、自分の生活にまつわる情報発信もしています。

ゆずまさんは、「安曇野市内には、様々ないきづらさを抱える人を支援する場はあるけれど、そこにつながるまでのハードルが高い。「hanpo」の活動が、苦しむ人たちが支援の場につながる“半歩”を踏み出すきっかけとなれば嬉しい。」と語ります。

今後は支援の輪を広げていく活動にも取り組んでいく予定です。

社会を変えよう、なんて大きな意気込みじゃない。ただ、自分を知ってもらい関係を築く中で、様々な生きづらさとかマイノリティに思いをはせてもらえたら。そうすることでマイノリティに対する冷たい視線とかが少しずつ無くなっていったらいいな。



hanpo 編集委員
いしだゆずまさん

エコライフあづみの

「香害」を理解し、環境にも優しい暮らしへ

「エコライフあづみの」は化学物質過敏症発症者とその支援者で発足した環境団体です。化学物質過敏症(以下、「CS」という。)は、身近な日用品等に含まれる有害化学物質(香害)が原因で発症し、頭痛や吐き気、呼吸困難やめまい、思考力の低下など様々な症状が出る病気です。

香りや臭い関連商品の性質上、成分は空気中に拡散し、接触した物にくっいたら簡単には離れないため、食品添加物などと違い「自分で避ける」ことができません。極わずかな柔軟剤の香り(=有害化学物質)が障害となって体調を崩し、仕事を続けられなくなったり、親族や友達と会えない、外出が困難になることもあります。

「エコライフあづみの」の濱さんは、香害に苦しむ当事者です。「自分や周りに CS に苦しむ人がいることを知ってほしい。香りの強い柔軟剤などは使わず、CS を引き起こさない純せっけん製品や重曹など安全な製品を使ってほしい。CS に安全な製品は、香害を引き起こすことが少なく、環境にも安全です。」と話します。

エコライフあづみの
濱さんご夫妻



生き物や環境に安全な暮らし方を選ぶことは、私たちや地球の未来を守ることに繋がります。持続可能な、すべての人や生き物に優しい暮らし方が広がっていくことが私たちの願いです。

第3回
市民活動セミナーを
開催しました！



仲間を巻き込みながら活発な活動をしていくためには？

市民活動サポートセンターでは、12月3日(土)に市民活動セミナー「役員だけが頑張っていませんか？活動への参加意欲を高める組織づくり」を開催しました。コミュニティ運営・支援事業に取り組む NPO 法人CRファクトリーの高橋葉子さんを講師に招き、ワークショップ形式で研修しました。

仲間に関わりたいと思えるためのポイントは、理念共感(一緒に担っていきたい)、自己有用感(自分は役に立っている)、居心地の良さ(一緒に活動するのが楽しい)の3つ。

メンバー全員に適切に出番と役割があることが重要で、そのために一人ひとりの「興味」と「得意」を把握することや、共に活動していることに感謝の言葉を伝えたり、ほめたりしながら、メンバーが居心地の良さや温かさを感じる組織づくりが強い組織であることを学びました。



講師の高橋葉子先生

参加者からは、「会員の得意分野の把握と事業立ち上げの意義を明確にすることを意識したい。」や「団体が居心地のいいと思う場所であり、活動が出来たら良かった、と励むことをみんなと共有していきたい。」などの感想をいただきました。



グループに分かれてワークショップ

やってみよう！LINEで情報発信 -公式アカウントの使い方- **要申込**

多くの人が利用しているLINE。LINE公式アカウントを使えば多世代の人に情報が届くかも！？

- ・日 時 1月14日(土) 13:30～15:30
- ・場 所 安曇野市役所4階 大会議室
- ・講 師 認定NPO法人 エリアネット
- ・参加費 無料
- ・申込期限 1月11日(水)まで
- ・問い合わせ 安曇野市市民活動サポートセンター(71-2013)

こちょ会 **要申込**

「子どもが無表情」「子どもに人見知り後追いがなかった」
気になるフレーズがあったら参加してみませんか？家でもできるわらべ歌やふれあい遊びを覚えて親子で楽しむなど、参加者みんなで心と身体の発達について学び合っています。

- ・日 時 1月23日(月) 9:30～10:20
- ・場 所 三郷農村環境改善センター
- ・講 師 赤沼 美奈子さん
- ・定 員 20人(先着順) ・参加費 300円
- ・問い合わせ こちょこちょの会 赤沼さん
(090-4153-9168 ショートメール可)

エコライフあづみの定例会

化学物質過敏症(CS)本人や身近にCSがいて対応に悩みを感じている人が気軽に相談し合える会
(CSの存在を社会に知ってもらう、身近な人にCSを理解してもらえ、香害を起こす化学物質リスクを知る等)

- ・日 時 毎月第3月曜日 10:00～正午
- ・場 所 下記問い合わせより相談
- ・問い合わせ エコライフあづみの 濱さん
(shiwawasena.te@gmail.com)

連合長野「ふれ愛基金」公募

- ・助成対象 長野県みらいベースの登録団体で、所在地が県内にあるNPO法人、ボランティア団体など公共的活動を行う非営利の民間団体
- ・助成内容 生活困窮者や福祉施設・居場所や子ども食堂等へのフードドライブ支援
- ・助成金額 1団体8万円
- ・募集期間 1月10日(火)まで
- ・問い合わせ (公財)長野県みらい基金(0263-50-5535)

岩原のタカラめぐりを楽しみませんか？ **要申込**

「冬を生き抜く生き物の姿や跡を探し 岩原の冬を楽しむ」
公園内→古田と棚田の足跡、林間の生活痕跡

- 岩原区→屋敷林に生きる動植物、春を待つ畑の植物
- ・日 時 1月14日(土) 9:30～正午
 - ・場 所 国営アルプスあづみ野公園
 - ・参加費 無料(公園入場料とテキスト代、別途必要)
 - ・問い合わせ 岩原の自然と文化を守り育てる会 百瀬さん
(090-3090-2578)

ひらく～あづみの不登校を考える親の会～

学校に行かない、行き渋っている、馴染めない、そんな子をもつ親を中心とした会です。同じ悩みをもつ親同士で集まり話をする事で元気になり、「つながり」を広げていくことを目的としています。

(会の時間中、一緒に参加している子どもたちは体育館や外で遊んでいます。子どもと遊ぶボランティア募集中！)

- ・日 時 毎月第4土曜日 14:00～16:00
- ・場 所 新屋公民館
- ・問い合わせ ひらく～あづみの不登校を考える親の会～ 片桐さん
(080-4007-1216 ショートメール可)

中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」募集

- ・助成対象 社会福祉・地域福祉の推進を目的とする団体(法人格の有無は不問)
- ・助成内容 ①生きづらさを抱える若者の未来創出活動 応援助成
②一般助成
- ・助成金額 ①500万円/活動、②1,000万円/活動
- ・募集期間 1月11日(水)
- ・問い合わせ 社会福祉法人中央共同募金会 基金事業部
(03-3581-3846 kikin-oubo@c.akaihane.or.jp)

「住まいとコミュニティづくり活動助成」募集

- ・助成対象 営利を目的としない民間団体(NPO法人、法人化されていない任意の団体など)
- ・助成内容 ①コミュニティ活動助成
②住まい活動助成
- ・助成金額 120万円以内
- ・募集期間 1月10日(火)まで
- ・問い合わせ (一財)ハウジングアンドコミュニティ財団
(03-6453-9213)

◆◆◆イベント情報をお寄せください◆◆◆

- ・市民活動サポートセンター通信やホームページで、皆さんの活動やイベントの広報をします。参加者や会員の募集を呼び掛けることができますので、お気軽に市民活動サポートセンターにご連絡ください。
- ・イベントや催し、普段の活動にセンター職員が取材に伺います。活動のPRにご活用ください。

【発行】安曇野市市民活動サポートセンター

〒399-8281 安曇野市豊科6000 安曇野市役所本庁舎2階 地域づくり課内
電話 0263-71-2013 営業時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15
メール kururin@city.azumino.nagano.jp ※祝日/年末年始(12/29～1/3)除く

ホームページ



Facebook



Instagram

